

# ゼロカウント™ 粒剤

## 水稲育苗箱専用殺虫剤

強さと優しさを両立した、天然物由来の殺虫剤。

- ・使用回数はカウント“ゼロ”! 特別栽培や有機栽培\*でも実力発揮。  
\*日本農林規格(JAS)の有機農産物栽培においても使用できます。
- ・簡単な箱処理で稲の重要害虫を防除。
- ・は種前から移植当日まで使用時期が選べる。

高密度播種対応



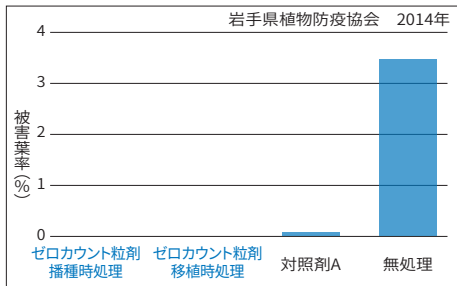
は種時から“ゼロ”へ。



## ●適用害虫と使用方法

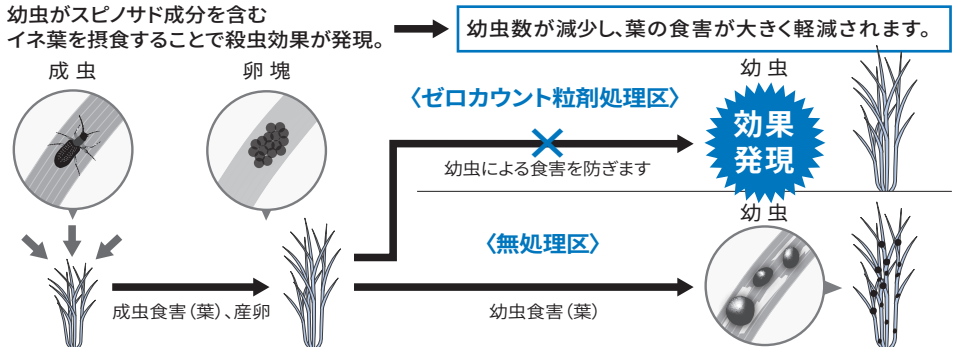
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピノサドを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に均一に混和する。	1回
		高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)				
	イネドロオイムシ フタオビコヤガ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	は種時(覆土前)~移植当日			
		高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)				
ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	移植2日前~移植当日				
	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)					
イネミズゾウムシ幼虫 イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	移植当日				
	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)					

### ■イネドロオイムシに対する効果

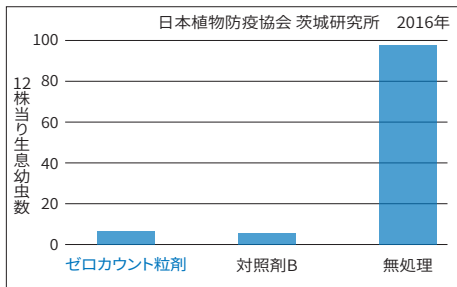


品種：あきたこまち は種：4月16日 移植：5月20日 発生状況：少  
 処理日：4月16日(は種時)、5月20日(移植時) 調査日：7月8日(移  
 植49日後) 調査方法：各区50株×2地点の被害葉率を調査

### ■イネドロオイムシへの効果

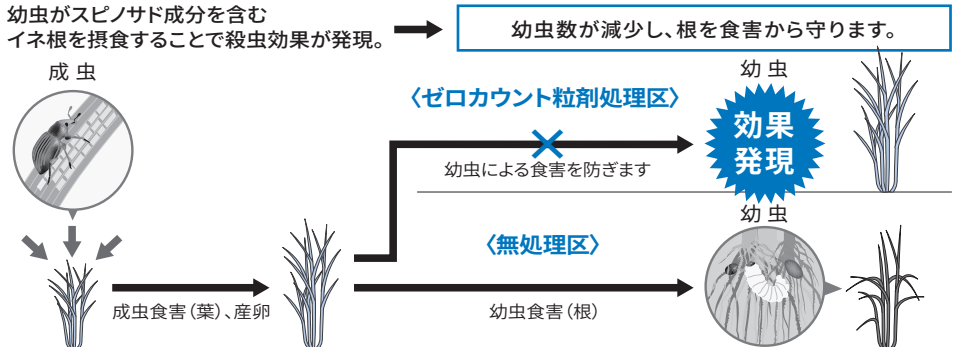


### ■イネミズゾウムシに対する効果



品種：コシヒカリ は種：4月11日 移植：5月9日 発生状況：中  
 処理日：5月9日(移植当日) 調査日：6月22日(移植44日後)  
 調査方法：各区計12株を掘り取り、根園部位に生息している幼虫数を調査

### ■イネミズゾウムシへの効果



### ▲ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から所定量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とすのち、十分灌水してください。
- 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけてください。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用してください。

- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意してください。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけてください。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけてください。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあります。その後回復するので通常の管理を維持してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう

に注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

### ▲ 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農作業マスク、手袋、長スポン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場等に放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

製造

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号  
 山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年11月現在の知見に基づき、作成されています。